

## JMRC 関東イーストラリーツアー第8戦

### JMRC 関東コミュニケーションシリーズ第7戦 第27回RBACサンデーラリー 20101127~28

さて、ラリー人口減少が騒がれている昨今、ラリーだけでなく他のカテゴリーも現象は同じ、主催者側の負担は台数に因らずに負担はあまり変わらないので台数によってはどう見ても赤字だろう？ってなイベントも多々見受けられます。主催意欲は高くてもこんな状態を続けられればいずれ破綻してしまうでしょう。エンタラントに呼びかけることはもちろん大切ですが、出やすい・出たい・魅力あるイベントを真剣に考えて作る時期ではないでしょうか？

来年の地区戦・全日本戦のカレンダーをご覧になりましたでしょうか？ その直下に位置するイーストラリーシリーズはラリータイヤを使用しての全戦オールターマックのラリー、確かに初中級レベルラリーストには車作りのコストを考えても出やすいラリーかもしれません。しかし、その上に位置する地区戦はグラベルとミックスでターマックなし、全日本は6戦がグラベルで2戦がターマックのSタイヤ使用のラリー。それぞれのラリーには土地柄があって仕方ないのですが・・・どう思います？ 舗装→ミックス→グラベルと客観的にみるとあまりおかしくない感じかしら（笑）。さて、イーストのチャンピオンは次に何処にいくのでしょうか？ 上に行きたい者に夢のあるステップアップ構造も必要のような気がします。 レベル問わず出たいラリーに出て楽しむのも否定はしませんけど・・・いきなりWRCに出ちゃう人もいますから。ちょっと古風な考えになってきましたかな。年イチのラリー参戦になってきた私が言うのもなんですが・・・

本題です。昨年、ハイテンポのラリーを意識したらハイテンポになりすぎて・・・間に合わないCPとかリエゾンを激走しちゃたとかでご迷惑をかけました。今年は少し落ち着いた設定になるといいなあなんて思ってます。コース製作は今回初めての経験になるウチの若手（中堅？）のあの男が担当、コミュニケーションシリーズの最終戦を意識して遠方からのエンタラントにもやる気の湧く設定を心がけた模様。勝負所は前半6ヶ所（トータル30kmくらい）、後半6ヶ所（トータル26kmくらい）、各ステージの距離は2~10kmといろいろ、リピートステージはナシ！（逆走はもちろんあります）。たぶんオンタイム区間は無いので地図さえ間違わないようにこなせばラリーコン不要、時計は必要ですよ。スタートは恒例になってきた君津インター付近、サービスもゴールも違うのでちょっと不便な面もありますがご勘弁ください。たぶん？面白いラリーになると思います（笑）。やっぱり台数が多くないと燃えてきませんよね。千葉のラリー初めての方も大歓迎、心よりエントリーお待ちしております。 from p